

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成30年度 第5回理事会議事録

日時:平成30年12月18日(火)

会場:文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)13名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、福田悦男
鈴木克美、直井秀幸、前原延之、阿久津宏一、佐々木清美、山田将樹

欠席:(理事)7名 佐藤智信、新村雅司、日向野信行、石渡光平、渡辺諭、益子基久、日向野剛
(監事)2名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長:年末の忙しい時期に参集いただき感謝する。今後とも、協会発展のため協力願う。

2 報告事項

(1)各種大会報告

ア 全国大学選手権:白鷗大学女子が3位、男子が7位

イ 天皇杯・皇后杯2次ラウンドの結果:ブレックスがファイナルラウンドへ進出

ウ 高体連:ウインターカップと県新人戦の組合せ報告

エ ミニ連:男子 優勝 姿川第二 2位 峰 女子 優勝 宮の原 2位 城山
男女ともに優勝・準優勝のチームが関東大会に出場する。

オ 社会人連:関東選手権県予選会

男子:優勝 プレーメン 2位 ホンダナッツ 女子:優勝 TBC 2位 女盛

男女ともに優勝・準優勝のチームが関東大会に出場する。

関東からの全国大会出場枠が6に増えたので出場のチャンスが広がった。

(2)強化部より

○強化部会の活動について報告。

○2019~2022までの各カテゴリーの年間スケジュールを作成し強化を進める。

○各カテゴリーの現状について報告

● U12:育成・強化をDCのプログラムをもとに実施

今後、ボールを6号球、リングを3.05mにして実施する。

● U15:来年度から、リーグ戦とJrウインターカップの県予選を実施する。

● U18:国体少年種別(U16)の練習会を3回実施し、今後の練習を通してチーム作りをしていく。

● 成年:成年男子について選手の編成や監督について検討する必要がある。

○アドバイザーコーチについては調整を図り活用していく。

○アンダーカテゴリーの練習着について、スポンサーを募り作り方向で検討する。

○U16の韓国遠征について要望が出ている。強化部として検証していく。

(3)財務部より

○来年度の予算を早急に提出願う。

○2019年度のD-fundの申請をした。基盤強化費が500万円になる。

○D-fund Aの事業費については、昨年度並みに申請した。

(4)各アンダーカテゴリー部会からの報告

ア U12カテゴリー部会

○12/1に関東ブロック育成センターに指導者2名選手8名が参加した。

○12/15に全国MC会議に参加した。内容に大きな変更はない。

○リーグ戦準備委員会を立ち上げた。

○前期は各地区で実施、後期は県ミニ大会のプレリーグとして位置付け実施する。

イ U15カテゴリー部会

① リーグ戦について

○リーグ戦を実施するために実行委員会を立ち上げた。

○前期は全中が終わるまでとし、後期はそれ以降とする。

○前期は中体連の大会があるので変則的な開催となる。

○後期は原則U15のすべてのチームが参加するようにする。

○参加費は3000円とし、会場費・審判代を抑えて手弁当で実施する。

② Jrウインターカップ等の予選会について

○2019年度はJrウインターカッププレ大会、2020年度は第1回Jrウインターカップが開催される。

○これらの予選会を11月の3・4週を使って4日間で開催する。

○トーナメント戦として実施し、参加チームはリーグ誠意の1部に限る。

○1部はJrウインターカップを目指す男女各16チームにする。

③ 2019年度以降のU15の登録と大会エントリーについて

○栃バ協で決めたものを、JBAより訂正するように指摘された。

○次回にはまとめたものを提出する。

ウ U18カテゴリー部会

○2019年度から1年生大会は廃止にし、リーグ戦を実施していく。

○2019年度は地区単位で実施、2020年度は県全域として実施する予定である。

(5)3×3委員会からの報告

- 前委員長の辞任に伴い、新委員長を選出し現体制で活動することを確認した。
- 2019.2.24日にU12・オープンの大会をトレセンで開催する。オープンの優勝チームは2020.2月に開催される全日本選手権に出場することになる。
- 3×3の日フェスティバルを宇都宮市とクロススポーツマーケティングの協力を得て開催する。会場はオリオンスクエアを予定している。
- 2019.11.2・3日に3×3ワールドツアー ファイナルが、宇都宮市開催が決定した。

(6)賛助会の報告:今日現在、個人会員100名、団体会員6団体、残高867千円となっている。

(7)新年会について

- 己亥の年は、組織を固め次の目標に向かって進む年に因み、2022年栃木国体優勝を目指し-夢の構築-とした。

- インカレ3位の白鷗大学女子部を招待する。

(8)その他の報告

ア BREX関係

- 現在、Bリーグ20勝4敗で東地区1位である。けが人が多いがチーム力で勝利している。
- 1/10～13の天皇杯、応援をお願いします。
- ブレックスカップ記念Tシャツ販売について、現在934枚売れている。後日、売り上げの5%を協会に還元する。

3 審議事項(議長:会長)

定足数について:理事総数20名、内出席者13名で、本会議は成立する。

議事録署名人: BREX 山田将樹 氏と ミニ連 阿久津宏一 氏 お願いします。

(1) 3×3委員会委員長及び担当理事の辞任について(専務理事)

- 3×3委員会の報告にあったとおり、前委員長の辞任に伴い新委員長及び理事の承認が必要となった。委員会の推薦により菊地宜秀さんを委員長及び理事としてよろしいか審議願う。

—承認される—

(2) U14jrオールスター選考会結果について(強化部長)

- 11/23に選考会を実施した。新人戦・JAカップ・昨年のU13選抜選手等から男女各12名とスタッフを選考した。審議願う。

—承認される—

(3) U18関東ブロック大会(男子高校関東大会)の収支決算について(専務理事)

- 今年度よりJBAの助成金が95万円だったが、48,401円を返金することになる。
- 協会として広告収入を1,388,000円得ているが、その内988,000円を大会の広告料として計上する。
- 残り40万円を高体連年間活動支援金とする。
- 当初予算で関東大会への県協会補助金30万円については、大会補助金としてではなく、高体連年間活動支援金として新たに計上する。
- 承認を得て補正を組みたい。審議願う。

—承認される—

4 その他

(1) 県内の体育館改修工事について

- 県北体育館は2019年7月末まで工事中、県南体育館は2019年9月から2020年6月まで工事予定 鹿沼いちごアリーナは工事を予定している。
- 体育館調整は難しくなることを了承願う。

(2) U15より(中体連)

- U15の北関東チャンピオンシップは、リーグ戦導入により廃止の方向で検討している。

7 あいさつ

上野副会長:長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。